編　集　室　よ　り

◇　早いものだ、もう１年がたったという感じの如実にする師走。この感じは年と共に強まっていく。１年を振り返ることが面倒な位に昭和 39 年という年は過ぎてしまった。しかし本号の冒頭に出口畜産課長が述べている如く、畜産界も出来事は数々あった。１年を回顧して為し終えたと思う人、失敗したと後悔する人、気力すら失いかけている人、希望を持ち得た人、人それぞれにさまざまであろうが、我々の営みはこの１年で終るものではない。今日が終われば明日が来るように１年は単なる時間のくぎりに過ぎない。

◇　余り実感をもって受けとられなかったことだが北海道の異常な冷害、又全国的な卵価の大暴落、乳価問題にからむ酪農連合会、並びに農協組織再編成へのゆさぶり等は特筆すべき今年の話題であった。新潟地震だって故なくしてあれだけの大惨事を招来した訳ではない。結果から推せば惨事は最小限にくい止められた筈であった。異状な低卵価も、農協組織の問題も起るべくして起った現象である。ひんぱんに見聞する交通事故だって災害者は不運に違いないが、当事者自身に責めのない場合は少ない、一寸した心掛けが不運を幸運に変え得るものである。ただし人には避け得ることと避け得ないこととがあることだけは確かである。避けうることまでも不運と片付けたのでは進歩はない。神様でも、自ら切り開こうとしない者に救いの手はさしのべられないであろう。身近に起った問題の中からこの１年をふり返ってみた時、【狐は己をとがめずして罠を責む】式の考え方をしてはいないだろうか。

◇　しかし、農業わけても畜産の場合、こうした反省の仕方だけでは割り切れない問題が多過ぎる。例え豊作であっても世間的には儲かったといえるかどうか疑わしい。他産業の場合儲かったというのは本当に企業利潤のあった時のことをいうのだが、農業の場合は生活の最低線が確保出来たという意味の場合が多い。ここに大きな意味の違いがある。開放化経済に踏切った我国の、それに対応する農業の真の構造改善は抜本的動きをみせるに至らなかった。表面的には活気がなかったともいえるかもしれない。が、内面的には、和牛センターの出現乾草の商品化事業、畜産コンサルタント事業等が生まれ、これらが畜産振興の芽となるかもしれない。否々、これら国や県が考える事業は農業者の動向につれて生れて来たもので、既に先進的農業者は【遠きを計る者は富む、われ百年後のため松杉を植ゆ】心意気を示しつつある。外国の農畜産物が我国に入って来ても、すべて輸入品で賄なうことは出来ないし、国民消費は減ることはないであろう。新しい畜産の未来像は悲観的ばかりではない。政治はだんだん変りつつある。未熟ながらも新しい動きは胎動している。どこかで、誰かが、それらが表面化する時もそう遠くはないであろう。【泣きごとを言う前に力を出せ】無意味な１年ではなかったといいたいものである。

◇　畜産の基盤整備のために本号は牧草の問題を若干とりあげてみた。新年度計画の参考になれば幸いである。本誌も統合版になって以来、無我夢中の内に１年がたってしまった。まだまだ未熟なものであるが、創刊 15 年の歴史にはじないよう編集面に新味を出したいと思っています。ご批判、お力添を賜りたくご意見をお待ちしております。

　よき新年をお迎えくださいますように。

本誌の予約申込要領

誌代　一部　50 円（送料共）

岡山畜産便り 1964.12

年間予約 600 円（送料共）

但し一部購入の場合は増頁号の誌代をその都度の価格とし、年間予約者は増頁特集号の分も一部 50 円のサービス価格です。

集団申込の特典

10 部以上を一括で年間予約する方は一部誌代を 45 円にします。百部以上を一括で年間予約する方は一部誌代を 40 円に割引きます。但しこの場合は一括購読ですから個人別発送は致しません。

申込方法

同封の振替用紙に代金を添え住所氏名明記の上申込んで下さい。

集団申込は代表者の名で何人分かを明記、誌代合計金額を払込んで下さい。但し申込みは前金を建前としております。

申込先

岡山市桑田町１丁目２番地

社団法人岡山県畜産会管理普及課

（電話）岡山 22-8575 番

（口座番号）岡山 1303 番